

市民の皆さんからの

「市政への提案」を紹介します

「市政への提案」の制度は、市政に関する建設的な意見および提案を市民から求め、今後の市政運営の参考とすることにより、市民参加・参画のまちづくりを推進することを目的としています。

令和元年度は、76件の意見および提案がありました。誠にありがとうございました。

寄せられた中から、主な「市政への提案」とその概要を掲載します。なお、市ホームページにも掲載しています。

●問い合わせ先 秘書広報課

自動車運転免許証の返納について

●提案

高齢者が運転免許を返納した場合には返納卒業式をしてはどうでしょうか。もちろん、医師や家族、警察とも連携し、行政参加でお願いできたら、個人的にも踏ん切りがつくと思います。

●回答

免許証の返納手続きは警察で行っており、自主返納者に卒業証書を渡す県もあるようですが、福岡県では行っていません。市では交通安全県民運動において「子どもと高齢者の交通事故防止」を重点項目として啓発活動などを行っており、今後も警察と連携しながら交通安全に取り組んでいきます。

料理の知識を生かしたい

●提案

私はケーキ、お菓子作りの技術を修得し、料理も学びました。私が学んだ料理やお菓子作りの技術を役に立てる方法はありませんか。

●回答

食を通じた健やかなまちづくりというのは、本市の重要施策の一つです。現在、市では保護者の子育てに関する学習会や、教育や学習の機会があります。培ってこられた経験をどのように市の事業に生かせるか、一緒に考えさせていただきます。

●その後の対応

ちくしの文化講座(ケーキ・お菓子作り)の講師を担当していただきました。

カミーンリヤ巡回福祉バスについて

●提案

カミーンリヤ巡回福祉バスの乗降を自由にしてください。買い物に利用していますが、つくし号は時間的に不便です。また、運転免許証を返納した人は、つくし号を無料にしてください。

●回答

カミーンリヤ巡回福祉バスは、国が定めるガイドラインによりさまざまな制約が設けられているため、乗降を公共施設等に限定した無料の福祉バスとして運行しています。

また、「コミュニティバス(つくし号)」については、運行開始から間もないことから当面は現在のまま運行し、皆様の利用状況を見ていきたいと考えています。

敬老会の対象年齢の見直しについて

●提案

敬老会は招待者の数が多く、開催に当たって自治会の負担は大きいです。一方で、市税の活用を、と自発的に辞退する人もおり欠席者も多いです。そのため、現在75歳以上の対象年齢

を90歳以上に引き上げ、自治会主催を市主催にしてはどうでしょうか。市主催となれば対象者も喜び、自治会の負担も軽くなります。

●回答

敬老会の対象者の年齢見直しについては、高齢者の増加に伴い、各自治会において課題があることは承知しています。現在、アンケートなど、さまざまなご意見を伺っていますので、貴重なご意見として拝聴します。

●その後の対応

皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、少子高齢化の進む将来を見据えた取り組みを推進するため、敬老の日事業に関しては、令和3年度から改定を行います。(改定内容は広報10月1日号に掲載予定です)

「市政への提案」の封筒と用紙は無料で提出することができます。

封筒は市役所、生涯学習センター、カミーンリヤ、各コミュニティセンターなどに設置しています。またホームページからも受け付けています。

皆さんからの提案をお待ちしています。

